

岐阜県福祉サービス第三者評価事業

評 価 書

(沖ノ橋認定こども園)

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 31 年 4 月 1 日改正
(平成 31 年 4 月 1 日適用)

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②施設・事業所情報

名称：沖ノ橋認定こども園	種別：幼保連携型認定こども園	
代表者氏名：山田 豪	定員（利用人数）： 115 名	
所在地：岐阜市沖ノ橋町2丁目15番地		
TEL：058-251-1856	ホームページ：https://www.wakokai.ed.jp/okinohashi/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成20年4月1日(平成28年4月1日幼保連携認定こども園移行)		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人和光会		
職員数	常勤職員： 19 名	非常勤職員 13 名
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士 27 名	
	看護師 1 名	
	管理栄養士 1 名	
	調理員 3 名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室 6室(0歳児～5歳児)	調乳室 1室 調理室 1室 一時預かり室 1室

③理念・基本方針（※転載）

理念

- ・一人ひとりを大切にし、生きる力を育みます。
- ・地域に根ざし、子育て支援の拠点を目指します。
- ・意欲と知恵と工夫により、子どもの幸せを実現します。

基本方針

- ・五感を刺激する豊かな環境をつくり、一人ひとりを大切に子どもの生きる力を育む。
- ・地域の人や多世代との交流を通じ、基本的な生活習慣や態度を学び、思いやりの心、感謝の心を育てる。
- ・創意工夫により教育・保育をすすめ、子ども・保護者・地域に信頼されるよう努める。
- ・地域に根差した子育て支援を展開する。

④施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

1. 一人ひとりの発達や成長に応じた個々への関わりを大切にした保育を行っている。
2. 地域の方との関りを大切にした活動を継続している。
3. 子どもたちの自主性を大切にした遊びこめる環境を提供している。
4. 保育の質の向上に努めるとともに、風通しの良い働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 2 年 8 月 3 1 日（契約日） ～ 令和 3 年 3 月 8 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3 回（平成 2 7 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

<五感を育む環境づくり>

市内の繁華街を少し通り過ぎた静かな一角に立地するこども園である。木々の向こうからは元気な子どもたちの生き活きとした声がよく聞こえ、道行く人たちにも元気を与えている。園庭には、木製の遊具やハウスが置かれ、歴史を感じさせる木々が、ちょうど良い木陰を作り、日差しを避け木陰で遊ぶ子どもの姿が見られる。

<意欲的に保育実践に臨む姿勢>

保育理念にある「子どもたちの生きる力を育む」環境づくりに向けて、保育に関わる全職員（外部講師も含めて）がチーム一丸となり、日々の実践を振り返り、意欲的に保育の仕事に取り組んでいる。

<リスクマネジメント体制>

ヒヤリハットを作成し、報告書を職員間で共有し、事故発見時の状況・初期対応をはじめ、導き出された原因・改善策などが具体的に記されている。また保育者の安全への意識向上を図るため、リスクマネジメント委員が中心になり「安全に気を付けて遊具や用具を使う」「園内の危険な遊びを知る」などの観点で危険予知シートを用いたトレーニングを実施している。

<業務のICT化の推進>

チャイルドケアウェブシステムを導入し、勤務時間内に子どもの保育状況の記録が確保できるよう効率化が進めている。それによって、職員間で共有するとともに、主幹保育教諭が全体の把握に努めている。必要に応じて主幹保育教諭が、早めに保育者に向き合い、アドバイスを等、保育の質の向上につながっている。

◇改善を求められる点

<さらなるサービスの質の向上>

今後とも現状に満足することなく、さらに理想を高く掲げ、評価の良かった点についても更なる改善に努めることで、今後、多様化する地域の子育て支援ニーズに対応した保育サービスの提供に邁進していただくことを期待する。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

教育・保育を取り巻く社会環境の変化に対応するため、様々な取り組みをしている当園にとりまして、高い評価をいただきましたことは本当に喜ばしいことと思っております。これからもこれを励みとし、前向きに沖ノ橋認定こども園が目指す教育・保育を展開していきたいと思っております。

また、地域との連携にも引き続き力を入れるとともに、保護者様からのご意見を参考にして、質の向上に向けて創意工夫を凝らしていきたいと考えております。

併せて、当園は職員の働きやすい職場を目指し、外部・内部研修やその環境づくりにも積極的に取り組んでまいります。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

評価細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>法人の理念を踏まえて、3つの基本理念が明文化されている。また、それに基づき4つの基本方針が明文化されている。また、わかりやすい保育・教育目標が明文化されており、当園の目指す方向性や考え方が読み取れる。理念、基本方針及び目標は、朝礼や職員会議等を通じて周知を図っている。利用者への周知については、園内での掲示、ホームページでの発信、入園式等の機会を捉え、説明等を通して保護者等への周知を図っている。</p>		
改善できる点/改善方法：		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>保育の制度動向や社会福祉事業全体動向等の把握については、市担当課、所長会議、関係機関・団体からの情報提供や、各種研修への参加等を通して情報収集に努めている。また地域の福祉ニーズについては、育児相談事業、園庭開放、子育て支援事業等を通して地域の子育てニーズの把握に努めている。法人本部に子育て支援事業部を設置し、経営戦略的観点から、施設の経営状況や地域のニーズ動向を分析し、ニーズに即した経営に努めている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>具体的な経営課題（地域の子育てニーズへの対応、人材確保、教育と定着、保育の質の向上、施設整備、地域貢献、経営体質の強化等）を明確化し、課題改善に向けた取り組みを行っている。とりわけ、デジタル化、ICT化については積極的な取り組みを進めている。</p>		
改善できる点/改善方法：		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	㉠・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>法人の中・長期計画として、5カ年計画とともに、12年間の長期計画も策定し、中・長期ビジョンを明確にしている。園運営の全般的な内容になっており、具体的な実施項目を明示している。園の課題や今後の方向性が読み取れる内容となっている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	㉠・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>中・長期計画を踏まえて、各年度単位に位置付けた事業計画を策定している。事業計画は、運営目標・方針を示し、事業運営、施設整備、行事計画、食育計画、研修計画等、園運営全般に渡る現状と課題、改善に向けた実施計画を策定している。</p>		
改善できる点/改善方法：		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	㉠・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>事業計画は、リーダー会議、職員会議等を通して、職員の意見をくみ上げ、策定しており、年度当初の職員会議や研修等での説明を通して職員への周知を図っている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	㉠・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>事業計画の利用者への周知については、園内掲示、メール配信を行うとともに、年度当初の入園式等、機会を捉えて説明している。また、ホームページを活用した周知に取り組んでいる。</p>		
改善できる点/改善方法：		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	㉠・b・c

良い点/工夫されている点： 自己評価・自己点検を活用し、毎年、定期的に職員間で自己評価を実施し、検討している。また、定期的に岐阜県福祉サービス第三者評価を受審している。外部・内部研修について、年間計画に基づき実施し、研鑽を積む等して保育の質の向上に向けた取り組みを行っている。		
改善できる点/改善方法：		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	㉠・b・c
良い点/工夫されている点： 自己評価・自己点検を活用した自己評価や岐阜県福祉サービス第三者評価の受審結果から把握した課題に対して、改善策・改善実施計画を立案し、解決を図る組織体制を整備している。		
改善できる点/改善方法：		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	㉠・b・c
良い点/工夫されている点： 運営規程や事務分掌表において園長の役割と責任について明文化し、職員会議や研修等の機会を捉えて、表明する等して周知を図っている。災害等の有事の際における役割分担表においても明らかにしている。		
改善できる点/改善方法：		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	㉠・b・c
良い点/工夫されている点： 事業運営を取り巻く関係法令や法令遵守に係る研修等の実施を通して、職員のコンプライアンス意識を高めるべく取り組んでいる。		
改善できる点/改善方法：		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	㉠・b・c
良い点/工夫されている点：		

<p>事業計画の運営目標に明記された「～保育の質の向上～」の具体的な実践のため、園長は、日常的な業務の中で職員の意見聴取に努め、施設の運営に反映させるとともに、定期的に面談を行い、業務等の相談、助言、指導等に取り組む等、積極的にサービスの質の向上に向けた取り組みに指導力を発揮している。また、研修機会の充実や事例検討の実施を通して職員教育の推進に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
13	<p>Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。</p>	<p>㉑・b・c</p>
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>園長は、人材確保や職員育成、効率的な業務体制、ICT化の推進や書類の簡素化等、費用対効果を考えつつ、経費節減の業務改善を推進するとともに、適正な職員配置に努める等、経営体質の強化に向けた取り組みを行っている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
<p>Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。</p>		
14	<p>Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p>	<p>㉑・b・c</p>
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>人事の裁量権は法人本部にあるが、希望する人材を法人本部に伝える等して、人材確保に努めるとともに、目標管理制度を活用し、職員エンゲージメントを高めている。また、各種研修制度の充実、資格取得の奨励、相談体制づくり等の定着対策も強化させている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
15	<p>Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。</p>	<p>㉑・b・c</p>
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>人事考課については法人で客観的な人事考課マニュアルを整備し、目標管理制度と連動した総合的な人事管理を行っている。また、キャリアパスモデルを示し、職員が自ら将来の姿を描ける様な仕組みづくりに取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
<p>Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。</p>		
16	<p>Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p>	<p>㉑・b・c</p>
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>職員の有給消化率や時間外労働については定期的にチェックし、把握するとともに、職員の家庭事</p>		

情に対応し、休暇が取得しやすいよう配慮している。また定期的な面談を通して職員の意向や意見を聞き取る等、相談体制の充実に努めるとともに、ワーク・ライフ・バランスに配慮した適切な就業環境作りに努めている。厚労省の「プラチナくるみん」、「えるぼし企業」認定を受けている。

改善できる点/改善方法：

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

17

Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。

㉠・b・c

良い点/工夫されている点：

事業計画の運営目標に「～職員の実践的研修の充実～」について明示している。目標管理制度を活用し、年度当初に目標を設定し、フィードバック面接を実施し、達成状況の評価を行っている。

改善できる点/改善方法：

18

Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。

㉠・b・c

良い点/工夫されている点：

年間研修計画が策定されており、新人職員研修、階層別研修、外部研修等、様々な研修の実施体制が確立している。研修受講後、研修内容の伝達講習を行う等職員への周知を図り、今後の研修計画の見直しに反映させている。

改善できる点/改善方法：

19

Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。

㉠・b・c

良い点/工夫されている点：

個人研修記録を整備し、職員一人ひとりの希望やスキルに合わせて各種研修を実施するとともに、職員一人ひとりの業務に着目したOJT、職員の職位に着目した階層別研修やテーマ別研修等を実施する等、研修機会を充実させている。

改善できる点/改善方法：

Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

20

Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。

㉠・b・c

良い点/工夫されている点：

実習生受け入れマニュアルを整備し、実習指導担当者を設置し、養成校と連携しながら、受け入れている。受け入れにあたっては、実習オリエンテーション、カンファレンスや振り返りを行う等して指導にあっている。

改善できる点/改善方法：

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	㉠・b・c
<p>良い点/工夫されている点： ホームページで施設概要、サービスの内容、自己評価・点検表、福祉サービス第三者評価結果、計算書類及び現況報告書(WAMNETリンク)等、事業運営に係る情報を幅広く積極的に公開し、運営の透明性の確保に努めている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	㉠・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 法人で経理規程等を整備し、事務、経理、取引等についてルール化している。定期的に会計事務所の巡回指導を受ける等、適正な運営に努めている。</p>		
改善できる点/改善方法：		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉠・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 事業計画の運営方針の中で、「～地域の人や多世代との交流～」が明記されており、地域との関わりの基本姿勢を示している。「公園清掃」等コロナ禍の影響で中止している活動もあるが、「音楽鑑賞会」「お店屋さんごっこ」「新年お楽しみ会」等活動を通して地域との交流の拡充に向けた取り組みを行っている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	㉠・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 今年度は、コロナ禍の状況にあり、ボランティアの受け入れは困難であるが、法人全体で、ボランティア交流の推進を掲げており、例年は、積極的にボランティアの受け入れを行っている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		

25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 地域の関連機関（市担当課、保健センター、エールぎふ、児童発達支援センター、嘱託医、消防署、地域の小中学校等）や、地域の関係団体（自治会、老人クラブ、民生委員児童委員協議会等）との連携が密に行われている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 地域の福祉ニーズについては、「子育て支援らっこ」での交流をはじめ、園庭開放、図書貸出、子育て相談等の活動を通して、地域の子育てニーズの把握に努めている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 社会福祉法人制度改革の流れの中で、今後、地域社会の公器として、社会福祉法に規定された社会福祉事業にとどまらない地域貢献活動がますます重要になってきている。地域の子育ての拠点施設として、地域の子育てニーズに応じて、園庭開放、相談事業、地域交流等に加えて、地域清掃や地域防災への協力等の公益事業への取り組みを行っている。また、法人全体で、地域とともにSDGsへの取り組みを始めている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 保育理念の中で「～一人ひとりを大切にし、生きる力を育む～」が明示されており、子どもの人権を尊重した保育に心がけている。また、人権擁護委員を講師に招き、職員研修を実施する等して人権意識について学びを深めている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		

29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育提供が行われている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 子どものプライバシー保護について、マニュアルを整備し、研修実施を通して職員への意識づけを図るとともに、日常的な生活場面において適切な支援に努めている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点： ホームページで園の保育内容や取り組み等を掲載したり、パンフレットで説明したりする等、保育所選択に資するようわかりやすく情報提供している。また、見学や園庭開放の要望にも積極的に対応している。</p>		
改善できる点/改善方法：		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 入園時に、パンフレットや入園案内等を用いてわかりやすく説明している。また、ホームページ上で詳しく保育内容や各種行事等について、掲載して周知を図っている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 転園に際しては、子どもの生活が途切れることのないようサービスの継続性に配慮した対応を行っている。就学児については、入学する小学校に児童要録を送付し、子どもの育ちの継続が保障されるようにしている。保育修了時にその後も相談が可能であることを説明している。</p>		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 毎日の送迎時に、声かけに心がける等、意見を言いやすい関係づくりに努めるとともに、保護者アンケートを毎年、複数回実施しており、その結果を集計・分析し、保育サービスの質の上昇に活かしている。また、保護者会や個別面談等で意見を聞く等、利用者満足の上昇に向けた取組を行っている。</p>		

改善できる点/改善方法:		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>苦情解決の体制を整備しており、窓口、第三者委員等苦情解決の仕組みについて園内に掲示するとともにホームページに掲載する等して、周知に努めている。</p>		
改善できる点/改善方法:		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>保護者とのコミュニケーションに努めるとともに、園内二カ所に意見箱を設置する等、気軽に意見を述べやすいよう工夫をしている。また、意見を述べやすいスペースを確保する等、気軽に相談できる環境づくりに取り組んでいる。</p>		
改善できる点/改善方法:		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>日頃から積極的に保護者と関わり、意見を傾聴する姿勢で接することで、良好なコミュニケーションがとれる関係性づくりに心がけている。寄せられた意見に対しては、対応マニュアルを整備し、迅速対応に取り組んでいる。</p>		
改善できる点/改善方法:		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点:</p>		
<p>改善できる点/改善方法:</p> <p>事故対応マニュアルを作成し、迅速な対応手順を定めるとともに、法人内にリスクマネジメント委員会を設置し、研修を実施している。また、ヒヤリハット事例を記録し、職員会議等で検討し、事故の発生予防に努めている。遊具の点検や園舎の内外の点検整備を実施し、安全確保・事故防止に取り組んでいる。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>感染症対応マニュアル等を整備し、法人内に感染症対策委員会を設置し、園の看護師を中心に研修</p>		

<p>を実施する等して予防に努めている。今年度は、コロナ禍の状況にあるため、感染対策として、検温、消毒、手洗い等を徹底し、密をさけ、換気についても実施している。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にやっている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 防災マニュアルを整備し、法人内に危機管理対策室や防災委員会を設置している。災害時の子どもの安全確保のため定期的に、様々な事態を想定した避難訓練を実施し、各種の災害に備えている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
<p>Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</p>		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 保育理念や保育方針に基づき、保育課程（全体的な計画）、指導計画、月案、週案を作成し、保育実践にあたっている。また、各種マニュアル類を整備し、職員会議等での説明や各種研修を通じて、職員への周知に努めている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 各種規程、各種マニュアル類の定期的な見直しを実施している。また、職員会議等での支援方法の定期的な見直しを通して、保育サービスの標準化に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点： アセスメントについては、統一したアセスメント様式を使用し、定められた手順に従ってアセスメントを行っている。また、アセスメントに基づいて指導計画を作成している。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 指導計画の見直しについては、職員間で課題を共有し、職員会議で評価・分析し、定期的に、または必要に応じて随時、見直しを行っている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
<p>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 子どもに関する記録については、チャイルドケアウェブシステムを活用して、子ども一人ひとりの発達状況や生活状況、保育の経過等が記録している。記録内容や子どもの捉え方・ポイントについて指導し、記録の標準化に努めている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 記録の管理体制については、個人情報保護に関するマニュアルが整備されており、適切な記録の保管、保存、廃棄を行っている。チャイルドケアウェブシステムを活用し、タブレットで管理する方式を採る等、ICT化を推進している。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

評価細目の第三者評価結果
(児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育内容**Ⅳ-1 保育課程の編成**

	第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点： 当園の保育課程(教育及び保育の内容に関する全体的な計画)については、市の保育課程を踏まえ、県や市の行事(人権週間等)の参加や地域行事(祭りや公園の清掃参加)、シニアクラブとの関りを大切にしながら編成されている。計画は子どもの発達の姿に応じて見直し作業を定期的に職員がきめ細やかに行っている。毎年度の目標設定、進捗状況、課題分析、見直しの一連のプロセスが一覧でき、分かりやすい。また、会議等を通して全職員に共有されている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

Ⅳ-2 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点： 建物や園庭の限られた空間を有効に活用し、子どもたちが発達に応じて主体的に活動ができ、また自然に親しむことができる環境づくりを行っている。園庭には緑が多く、木々の木陰で子どもたちがホッとできる等、心地よく過ごせるようになっている。家庭による生活リズムの違いや体調に応じて個別の対応を配慮し、安定して自発的に活動できるよう支援している。遊びの種類で静・動の活動ができるよう遊びのコーナーが構成され、子どもたちが落ち着いて遊ぶことができるような工夫もみられる。</p>	
改善できる点/改善方法：	
Ⅳ-2-(2) 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点： 子どもの欲求を受け止め、気持ちを大切に保育に心がけている。チャイルドケアウェブを活用して記録を共有し、子どもの成長に即した保育を園全体で行っている。クラス会議や年齢別会議を週1回実施し、支援が的確にできるよう職員同士の連携を深めている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
Ⅳ-2-(3) 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点： 生活習慣の習得について無理なく自発的に身につけられるよう、少人数で子ども一人ひとりに深く関わるとともに、子どもの動線を配慮した環境整備に努めている。むやみに急がせるのではなく、一人ひとりの子どもにとって適切な時期を見極めて、その都度援助するようにしている。また、基本的</p>	

生活習慣の形成には家庭との連携が不可欠であるため、連絡帳や送迎時のコミュニケーション等も大切にしている。	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(4) 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>同じごっこ遊びの玩具も年齢、時期によってイメージしやすい素材や形を工夫し、遊び込めるよう手作りで配置している。毎日の記録から月ごとの振り返りを通して、子どもが豊かに遊びを発展できるよう取り組んでいる。また、例年、様々な行事を通して活動や異年齢で関われる環境を構成してきたが、今年はコロナ禍の中、夏祭りも保護者の出入りが禁止であったが、年長児の提案のより、自分たちでおみこしを作り、遊戯室での異年齢による子どもたちの手作りの夏祭りが開催でき、大いに盛り上がったとのことである。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(5) 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>一人ひとりが安心して過ごせるよう家庭的な環境づくりに努めている。保育士との愛着関係を持つよう言葉がけやスキンシップを重視するとともに、発達に応じた保育に取り組んでいる。一人ひとりのその日の状況やリズムに応じて、食事や睡眠を提供している。家庭への連絡は、園での一日の様子がすべて保護者にわかるよう、関わった保育者たちが手書きで全日、連絡帳に記入し、連携に努めている。また送迎時には保護者と口頭によるコミュニケーションを心がけている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(6) 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>体験や感触を通して五感を刺激できる自然環境と遊びの素材が用意されている。園庭は決して広くはないが、起伏や木陰を活かし、未満児にとって発見や体感を促すような環境が整備されている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(7) 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>一人ひとりが関心を持つ活動に子どもが十分に関わっていけるよう、担当職員は子どもの実態に合わせながら支援している。また、子ども同士が発展的に関係を築いていけるよう養護と教育の一体的考察を繰り返し行い、実践に活かしている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(8) 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a) b・c

<p>良い点/工夫されている点： 専門職の支援担当職員を配置し、必要な援助について職員間で共有し、適切な援助が受けられる体制となっている。障がい児に関する研修に積極的に参加し、学びを深めるとともに、法人事業の児童発達支援センターや小児リハビリテーションと連携し、必要な支援を行っている。個別支援計画を作成し、保護者との面談も毎月実施している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
<p>IV-2-(9) 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>(a) b・c</p>
<p>良い点/工夫されている点： 長時間マニュアルを整備し、子ども一人ひとりのその日の体調を共有し、「眠る、食べる」を充実させ、穏やかに過ごせるように配慮している。担任から長時間保育担当者に文書や必要に応じて口頭で引き継ぎが行われ、一日の流れの連続性を意識した保育を行っている。また、できる限り環境を変えないように、16時までは通常通りの保育室で保育を行い、18時以降は遊戯室に移り、雑炊やシチュー等温かいものを提供しつつ、異年齢の子どもたちとゆっくり過ごせるよう配慮している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
<p>IV-2-(10) 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	<p>(a) b・c</p>
<p>良い点/工夫されている点： 就学に向け、学びの連続性を意識した指導計画を立て、週案、日誌とともに一人ひとりの子どもの記録を併記している。これらは、子どもの成長過程を踏まえて作成され、小学校までの個人の発達の姿としても活かしている。通園してくる子どもたちの学区は15校区に及ぶため、近くにある小学校への見学を実施し、就学後の生活について見通しが持てるようにしている。また、さらに、円滑な就学に向けて「幼保連携型認定こども園園児指導要録」を作成し、それぞれの進学先となる小学校に送付し、連携を図っている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

IV-3 健康管理

		<p>第三者評価結果</p>
<p>IV-3-(1) 子どもの健康管理を適切に行っている。</p>	<p>(a) b・c</p>	
<p>良い点/工夫されている点： 一人ひとりの「健康調査票」「成育歴記録」を用意し、その上に直接、保護者に情報を確認して職員間で情報共有している。今年度は、新型コロナウイルス対策について、年齢に応じてわかりやすい方法で指導し、家庭での手洗い、手指の消毒についての協力をお願いしている。薬の保管についてはマニュアルがあり、「お薬預かりノート」を使用している。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
<p>IV-3-(2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。</p>	<p>(a) b・c</p>	
<p>良い点/工夫されている点： 定期健康診断は年2回、発育測定は毎月1回実施している。健康診断・歯科健診の結果は文書で家庭に伝え、異常が見られる場合や必要に応じて受診を促す等、その後の経過を確認している。また、これらの結果は保育内容に組み込み、また、家庭生活でも活かしてもらうよう伝達している。</p>		

改善できる点/改善方法:	
IV-3-(3) アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>疾患が認められた場合は、医師による指示の下で、園長、看護師、管理栄養士が細かな聞き取りを行い、全職員で情報を共有し、子どもの健康と安全が守られるようにしている。また、緊急時の対応方法に関する研修も実施している。毎月の献立については、保護者と看護師、管理栄養士も同席して、細かい配慮の方法について検討している。</p>	
改善できる点/改善方法:	

IV-4 食事

	第三者評価結果
IV-4-(1) 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>食育計画は全体的計画に位置付けられており、5つの目標が掲げられている。行事食やクッキングは、子どもたちの楽しみになっている。食に対する興味や関心を育てるために屋上でのプランター農園で種まきから収穫までの野菜作りを子どもたち自身の活動として計画を立て、実施している。また、5歳児がお米を研いで、炊き立てご飯の提供も行っている。</p>	
改善できる点/改善方法:	
IV-4-(2) 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点:</p> <p>新型コロナウイルス対策として、食事時間に時間差をつけたり、テーブル間の距離を取る等の配慮がなされている。食べる量や好き嫌いについては職員間で共有し、無理なく食べられるよう配慮している。また、職員室の前に給食・おやつ・夕食の検食を置き、子どもが献立内容に関心を持ち、食事を楽しみにしながら待てるような工夫がされている。また、保護者たちの目に触れやすい場所に展示食を置き、家庭での食事の参考にしてもらっている。地元食材を使う等して旬の食材の理解を深めたり、子どもたちが収穫した野菜を活用して、例えばともろこしはポン菓子として、また稲でしめ縄づくりを行う等、食文化の理解につなげている。</p>	
改善できる点/改善方法:	

評価対象V 子育て支援

V-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
V-1- (1) 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点： 子どもの日々の様子について、連絡帳やお便りノートで情報交換を行い、動画配信でも保育の様子を伝えるようにしている。また、保護者懇談会等を通じて、保育の意図や保育の内容について説明している。緊急時等については、朝夕の送迎担当者が保護者にメール配信を行うとともに、職員間で申し送りする等して共有している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

V-2 保護者等の支援

	第三者評価結果
V-2- (1) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点： 送迎時には保護者への挨拶、声かけを行うとともに、表情、態度を観察している。気になる場合には個別に声かけする等して支援している。また、以上児には毎年、個別面談を実施している。日頃はメール配信や、ホームページでの動画配信等で保護者支援の情報を提供しているが、特にコロナ禍の影響で全員の通園が困難な時も子どもたちの作品や、園での活動の様子を配信する等して、保護者支援に努めている。また、子育て支援講座や親子で参加できる教室を開催する等、地域の子育て支援に取り組んでいる。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
V-2- (2) 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点： 虐待対応マニュアルを整備し、毎年、権利擁護や虐待防止に関する研修会を実施し、具体的な事例検討を行う等して学びを深めている。子どもの様子について、小さな変化についても注意を払う等して、子どもの心身状況等の把握に努め、職員間で情報交換をしている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

評価対象VI 保育の質の向上

VI-1 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
VI-1- (1) 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	(a) b・c
<p>良い点/工夫されている点： 保育記録の作成を通じてPDCAサイクルを回し、振り返り（自己評価）を行っている。その結果については、資質向上のために何ができるのかという観点で上司と面談を行っている。個別記録はチ</p>	

<p>チャイルドケアウェブで作成し、年間を通した子どもの育ちを確認しながら、職員間で共有し、保育実践の向上につなげている。</p>
<p>改善できる点/改善方法：</p>

評価対象Ⅶ 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅶ-1-（1） 外部からの侵入に対する対応策がとられている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>良い点/工夫されている点： 不審者等の防止策として、園舎のオートロック体制となっており、さらに警備会社と契約して防犯体制を強化している。不審者対応訓練や警察署のたんぼぼ班による連れ去り防止の講習を毎月実施している。「不審者対応マニュアル」を整備し、緊急通報体制も確立されている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅶ-2-（1） 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。</p>	<p>Ⓐ b・c</p>
<p>良い点/工夫されている点： 年度当初から文書による案内に加え、随時配信するメールやホームページで周知を図り、コロナ禍の中、可能な範囲内で運動会等の行事を計画し、実施している。行事に参加できなかった場合には、個別に報告したり、ホームページで写真や動画により情報発信している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
<p>Ⅶ-2-（2） 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>良い点/工夫されている点： 保護者会活動の場として園を提供するとともに、意見交換を含め、「子どもたちの発達にお互いに力を合わせる」との方針の下に、風通し良くコミュニケーションが維持できる関係作りに努めている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

Ⅶ-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅶ-3-（1） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。</p>	<p>Ⓐ・c</p>

良い点／工夫されている点：

地元の小学校とは、グラウンドや体育館を借りる等、日常的に連携関係ができており、小学校が身近に感じられる関係となっている。また、他園との連携に関しては、市内の園長会を通して情報の共有や円滑な連携が取れるよう配慮している。

改善できる点／改善方法：

特定非営利活動法人 故郷後見センター
理事長 成瀬 康弘

